

— 令和3年度第1回江別市かわまちづくり協議会 議事内容 —

① 前回協議会での議事内容について

【藤原委員】 前回12月の報告が8月になるのは遅すぎると思います。なぜこんなに時間がかかったのか説明を求めます。

(説明)

今年度当初以降に新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ協議会の開催を検討しておりましたが、北海道へ緊急事態宣言が発令されるなど開催が見通せない状況が続いたことから、8月に書面会議にて協議会を開催することといたしました。

今後は、協議会開催後に会議録を各委員へ送付するなど、速やかな報告に努めます。

② 旧岡田倉庫の移設に係る状況報告について

【藤原委員】 ①と同じく、遅すぎると思います。この件に関しても、なぜこんなに時間がかかったのか説明を求めます。前回の協議会でも意見を述べさせていただきましたが、

- ・旧岡田邸が使用可能なのか？
- ・修繕が必要なら金額がいくらかかるのか？
- ・その金額の予算が出るのか？

以上のことがわからなければ、話を進めることができないと思います。

江別市のかわまちづくりの事業計画と照らし合わせると、残りの時間が限られているのに、いまだにこの進捗状況では不安があります。

具体的な不安として、時間がなくなり、駆け足で計画を進めて、全体的に失敗するのではないか？と思います。

(説明)

旧岡田邸(母屋)につきましては、委員ご指摘のとおり、旧岡田倉庫と一体とした利活用方法を検討するにあたり、現在の耐震性や改修費用等を調査する必要があると考えております。

現在、調査に向けての調整等を行っておりますが、調査費用に係る予算等の事情により、調査開始には至っていない状況です。

今後の調査状況につきましては、進展があり次第報告させていただきます。

また、かわまちづくり計画につきましては、来年度のかわまちづくり支援制度への申請に向けて、議論を重ねていきたいと考えておりますが、申請後もかわまちづくりの議論、検討は継続して行い、地域住民等のご意見を可能な限り反映させていきたいと考えております。

③ 江別市かわまちづくり勉強会の実施報告について

【藤原委員】 ①②と同じく、遅いと思います。この件に関しても説明を求めます。

(説明)

①と同様、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ協議会の開催を検討しておりましたが、開催が見通せない状況が続いたことから、8月に書面会議にて協議会を開催することといたしました。

今後は、勉強会開催後に勉強会資料及び会議録を各委員へ送付するなど、速やかな報告に努めます。

④江別市かわまちづくりロードマップ（案）について

【小篠委員】この時点でのロードマップは、了承しますが、WGを機動的に動かさないと、川まちづくり計画の骨子を開発局に報告できなくなってしまうので、8/17、9月の勉強会の内容を詰める必要があります。

⑤江別市かわまちづくり勉強会の位置づけ（ワーキンググループ）について

【可決】 承認 8名、不承認 0名

【藤原委員】江別市かわまちづくり勉強会をワーキンググループと同等の位置づけにすることに賛成です。地域住民や事業者の広い参加を求めます。住民や事業者に対して勉強会への参加を募ることにに関してまだ努力が必要だと思います。

自由参加とはいえ、地元の人意識として、「自分たちが主体でまちづくりをする」というよりは、「何か決定したの？ そうなの？ へー。なんだかね」という意識の方が強いと感じます。

自分たちの住む街のことだし、たくさん税金を使う事業なので 関心の輪を広げる努力をしなければいけないと考えます。

たとえば、かわぎし公園が堤防拡張工事のために無くなった事で、近くの3つの幼稚園・保育園に通う子供たちの遊ぶところが少なくなりました。犬の散歩で使っていた人も寂しく思っている。僕が近くに住んでいるから聞いた話であるし、子どもが幼稚園に通っているから、保育士さんから聞いた話です。

関わりのない人からの話や気持ちを知ることはできません。なるべく多くの人と関わり、話をして気持ちを知って、みんなで作り上げていくことを求めます。そのために協議会としてもっと努力をする必要があると思います。

【内田委員】ワーキンググループの存在意義がよく分かりません。協議会と勉強会の二本立てで充分なのでは。

【町村委員】勉強会をワーキンググループに位置付けることに関しては、参加者の同意が前提になるものだと思います。また、現状の勉強会のメンバーは、固定的でないと考えてるので、何かまとまった答申や成果物をワーキンググループに求められた時にどのように討議の流れを踏まえたまとめをするのか、方法論が難しいように思う。

（説明）

協議会は、必要に応じて、テーマごとにその推進について協議調整等を行うワーキンググループを設置することができるものとされ、これまでは、旧岡田倉庫の利活用に関するワーキンググループが開催されております。

協議会の中で、誰もが参加可能で広く意見交換を行えるようなワーキンググループを開催してほしいとの要望があり、市としても広い意見を求める場を設置したいと考えていたことから、協議会のワークショップとして、今後のかわまちづくり計画策定を見据えて、広く地元住民や事業者等との意見交換を行うことを目的に、かわまちづくり勉強会を開催いたしました。

これまでの勉強会においても、ハード、ソフトの利活用方策や運営方法についてなど、幅広い意見が出されており、今後、かわまちづくり支援制度への申請に向けて具体的な整備方策等を検討し

ていくにあたり、地元住民等の意見をより反映させるため、勉強会で出された意見をワーキンググループの意見と同等に位置付けることを協議会としてご承認いただきたいという趣旨から本議題を提案いたしました。

なお、ワーキンググループでは議題に対する最終的な意思決定や答申等は行わず、そこで出された意見内容を基に協議会にて議論を行い、最終的な承認や答申を行う体制とさせていただきたいと考えております。

勉強会を協議会のワーキングとして位置付けることについては、協議会の了承をいただけましたら、次回勉強会にて事務局から参加者へ説明させていただく予定です。

⑥その他、協議会全般について何かご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

【内田委員】

私の意見書を平成28年1月26日付で地域住民や役所に提示し、その後加筆したものを連合自治会長名で江別市に要望書として提出しております。これは条丁目地区の住民の総意であり、この要望に対してきちんとした対応をお願いいたします。